

妹 姉  
堂奈さん 天之くん

# てんのくみ

勤行編  
17

## 般若心経 前編

そのもやもやした  
気持ちを  
解決してくれる  
ヒントがここに  
書かれてある

### 般若心経

はんにゃんぎょう

知ってるよ!

「かんじー」  
私も唱えているわ  
知ってるよ!

でしょ?

知ってるか?  
般若心経は  
お釈迦様の  
弟子である舍利子が  
觀自在菩薩(觀音さま)から  
悟りの話を聞く  
というストーリー  
仕立てになつてある



冒頭は  
こうある

般若心経は  
仏教の教えの  
本質が書かれてあるんじゃ

金剛さまも  
ただ唱える  
だけではなく  
「心経の心」で  
生活することが大切



## 觀自在菩薩

行深般若波羅蜜多時

## 照見五蘊皆空

度一切苦厄

前回のヒント  
そういうえば

「空」ってなに?

空に浮かぶ  
雲を見て  
こちら



雲は一つの形に  
とどまらず  
変化するじゃろ?  
こんなふうに  
定まった  
形がない  
その様子を  
佛教では

「空」というんじゃ



雲だけではなく、  
「空」なのは  
君たちの体も  
同じなんじや

体も？

たしかに

子供は  
大きくなるけど  
大人になったら  
変わらないよ？

それかな、  
何歳だろうと  
人間の体を  
つくっている  
約60兆個の細胞は  
古いものは死に、  
新しいものに  
毎日少しずつ  
生まれかわって  
いるんじやよ



ということは  
昨日と今日で  
ちがう私になって  
いるのね



悲しい時、  
うれしい時、  
他にも  
いろいろある  
じゃろ？



どんなに大切にしても  
いすれば古びたり  
こわれたりして  
失う時は来る。

永遠に変わらない  
ものなど無い  
ということを  
教えてくれるのが  
「空」であり、誰にも  
抗うことのできない  
真理なんじや。  
「今まま変わりたくない  
「こうじやなきゃいやだ」といった  
「こだわり」や「とらわれ」の心が  
苦しみを生む素になるんじや



すべてが「たま」ということは  
救いでもあるんじや。  
今がどんなに悲しくても  
永遠には続かない  
気持ちが晴れる日は  
必ず来るんじや

大切なものの  
こわしちゃったけど  
仕方ないことなのね。  
そういうば  
あの子元気かしら  
手紙書こうかな



明日から  
練習もと  
がんばるぞ

宿題も  
がんばってね

私はチ紙を…  
あれ?  
便せんに  
何が書いてあるか



## 変化し続ける世界

般若心経とは、「大般若經」という全六〇〇巻もある長いお經の真髓(心)を、わずか二七六字にまとめた工キスです。「西遊記」で有名な玄奘三蔵法師といつお坊さんが、天竺(昔のインペ)から持ち帰り翻訳しました。

た眞理です。自然界では、樹木が季節を追うことに花を咲かせ実を結ぶよう、人間もまたお金持ちでも貧乏人でも、誰もが平等に歳を取ります。すべてのものは常に変化し続けるようにできており、この法則に抗おうとするところに「苦しみ」が生まれます。

たとえば、転校や卒業などで友達と別れることは辛いことです。その別れは新たな友人との出会いの始まりでもあります。ところが「あの頃は良かつた」「昔に戻りたい」といつまでも過去にとらわれていると、今を素直に喜べず苦しいだけですし、せっかくの新しい出会いのチャンスもふいにしてしまいかねません。

「一切は空」という世界のことわりを受け入れ、いつも前を向いて「変化」を楽しんでいくところに幸せな未来は開けていくのです。